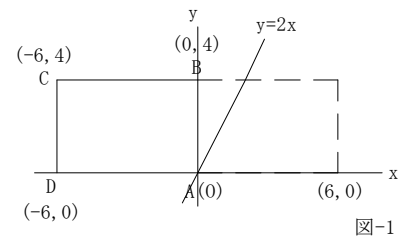
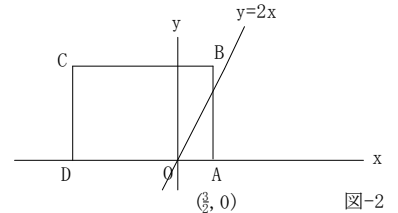


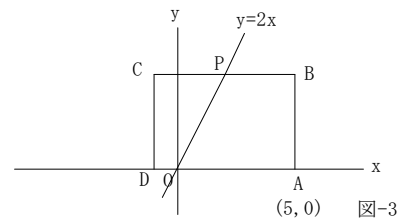
1. 図-1のような たて4cm, よこ6cm の長方形ABCDと直線 $y = 2x$ がある。長方形ABCDは 辺ADを x 軸上において, 頂点Aが原点から点(6, 0)の位置にくるまで動く。このとき, 長方形ABCDは 図-2, 図-3のように直線 $y = 2x$ によって2つの図形に分けられる。弧の直線の下にある方の図形について, 次の問いに答えよ。ただし, x 軸, y 軸の1目盛を1cm とする。



問1 頂点が点 $(\frac{3}{2}, 0)$ の位置にきたとき, 直線 $y = 2x$ の下にある方の図形(三角形)の面積を求めよ。



問2 頂点が点(5, 0)の位置にきたとき, 辺BCと直線 $y = 2x$ との交点の座標を求めよ。また, 台形OABPの面積を求めよ。



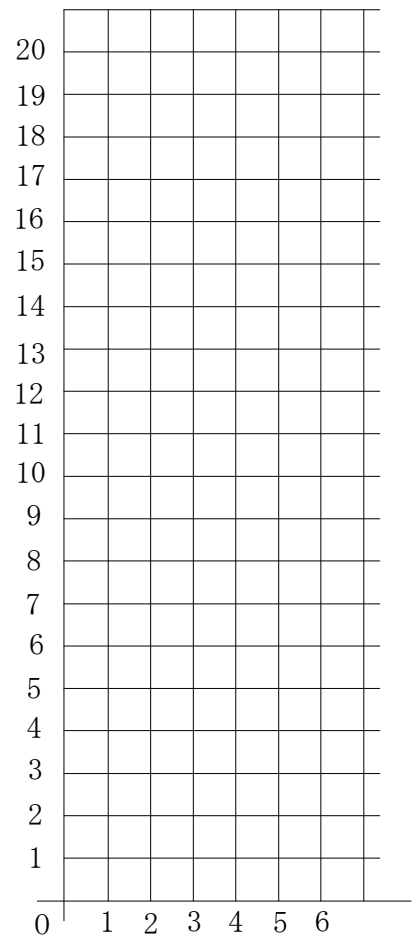
問3 頂点Aの座標を $(t, 0)$ とするとき, 直線 $y = 2x$ の下にある方の図形の面積を $S\text{cm}^2$ とする。このとき, 次の(ア), (イ)の各場合に分けて t と S の関係を式に表せ。

(ア) $0 \leq t \leq 2$ のとき

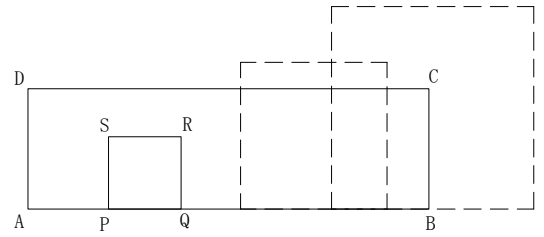
(イ) $2 \leq t \leq 6$ のとき

問4 問3の t と S の関係をグラフに表せ。

問5 直線 $y = 2x$ の下にある方の図形の面積が長方形ABCDの面積の $\frac{3}{5}$ になったときの頂点Aの座標を求めよ。



2. 右の図で四角形ABCDは、 $AB=10\text{cm}$ 、 $AD=3\text{cm}$ の長方形である。点P、Qは直線AB上を $AP=PQ$ となるように動く点であり、四角形PQRSはPQを1辺とする正方形である。点PがAからBまで動くとき、Pの動いた距離を $x\text{cm}$ 正方形PQRSと長方形ABCDとが重なる部分の面積を $y\text{cm}^2$ とすると、次の問いに答えよ。



- (1) 点PがAから4cm動いたとき、正方形PQRSと長方形ABCDとが重なる部分の面積を求めよ。

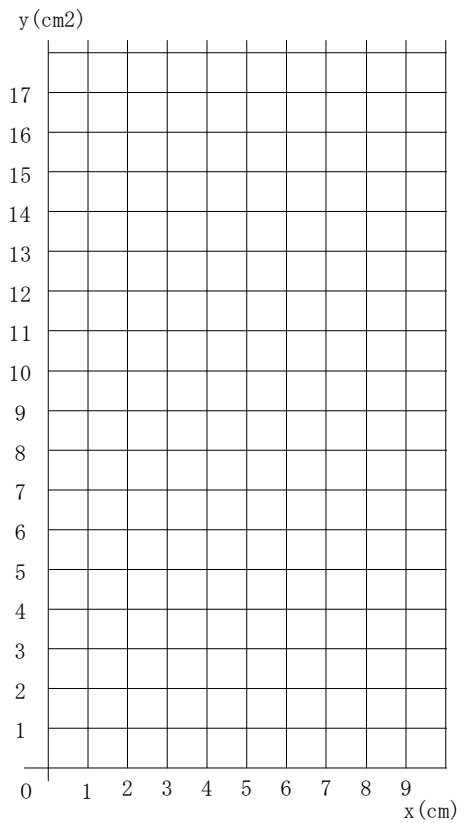
- (2) 点Pの動いた距離を、次の各場合に分けて、 y を x の式で表せ。

(ア) $0 \leq x \leq 3$ のとき

(イ) $3 \leq x \leq 5$ のとき

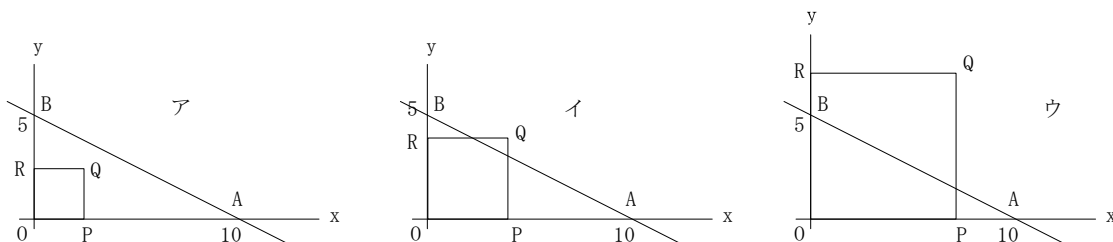
(ウ) $5 \leq x \leq 10$ のとき

- (3) (2)で求めた x と y の関係をグラフで表せ。



- (4) $y=4$ となるのは、 x の値がいくらのときか。すべて求めよ。

3. 2点A(10, 0), B(0, 5)がある。点Pは, x軸上を原点0から点Aまで動くものとし, 図のようにOPを1辺とする正方形OPQRをつくる。OPの長さを t cmとし, 正方形OPQRの周のうちで, 三角形OABと重なる部分の長さを L cmとすると, 次の問いに答えよ。ただし, 座標の目盛の単位はcmとする。



(1) OPの長さが5cmのとき, L の値を求めよ。

(2) 次の各場合に分けて, L を t の 式で表せ。

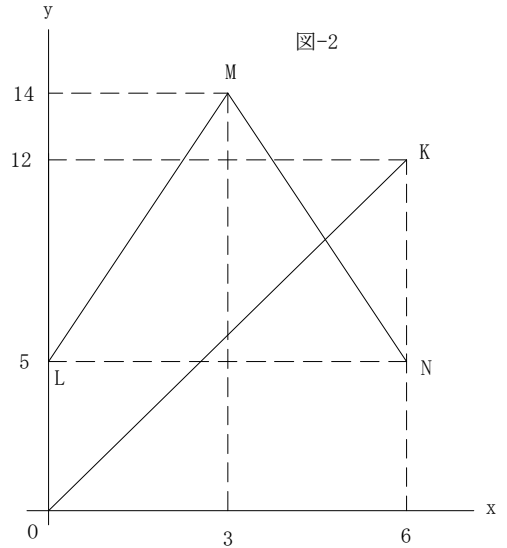
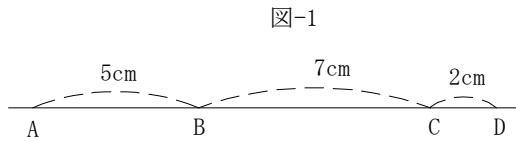
ア 辺PQ, QRが, 直線ABと交わらないとき $\left(0 < t \leq \frac{10}{3}\right)$

イ 辺PQ, QRが, 直線ABと交わるとき $\left(\frac{10}{3} \leq t \leq 5\right)$

ウ 辺PQ, QRが, 直線ABと交わるとき $(5 \leq t \leq 10)$

(3) L の値が, 正方形OPQRの周全体の長さの半分になるときの t の値 を求めよ。

4. 図-1のように、直線上に $AB=5\text{cm}$, $BC=7\text{cm}$, $CD=2\text{cm}$ である4点A, B, C, Dがある。いま、点Pはある速さで、この直線上をAからCまで動く。また、点Qは毎秒 3cm の速さで、この直線上をBからDまで動き、再びBまでもどる。図-2は、2点P, Qが同時に動き始めてからの時間を x 秒、そのときのAからの距離を $y\text{cm}$ として、 x, y の関係をグラフに表したものであり、点Pについては線分OK, 点Qについては折れ線LMNである。このとき、次の問いに答えよ。



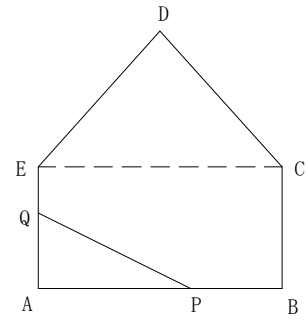
- (1) 点Pの速さを求めよ。
- (2) 点Qについて、次の各場合に分けて、 y を x の式で表せ。また、各場合の x の変域もかけ。

ア 点QがBからDまで動くとき

イ 点QがDからBまでもどるとき

- (3) 点PとQが重なるのは、動き始めてから何秒後か。また、Aから何 cm のところか。

5. 図のような, $AB=8\text{cm}$, $BC=4\text{cm}$ の長方形 $ABCE$ と, $DC=DE=6\text{cm}$ の二等辺三角形を組み合わせた五角形 $ABCDE$ がある。いま, 点 P は, 頂点 A を出発し, 毎秒 2cm の速さで, 辺 AB , BC , CD 上を頂点 D まで進む。また, 点 Q は, 頂点 A を出発し, 毎秒 1cm の速さで, 辺 AE 上を進み, 頂点 E に到着すると静止するものとする。
2点 P , Q が頂点 A を同時に出発してから x 秒後の三角形 APQ の面積を $y\text{cm}^2$ とするとき, 次の問いに答えよ。



- (1) 点 P , Q が頂点 A を出発してから 3 秒後の三角形 APQ の面積を求めよ。

- (2) 次の各場合に分けて, 三角形 APQ の面積を表す式をつくれ。

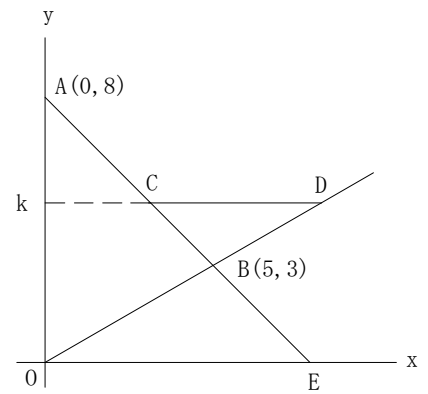
ア 点 P が辺 AB 上にあるとき ($0 \leq x \leq 4$)

イ 点 P が辺 BC 上にあるとき ($4 \leq x \leq 6$)

ウ 点 P が辺 CD 上にあるとき ($6 \leq x \leq 9$)

- (3) 三角形 APQ の面積が 12cm^2 になるのは, 点 P が長点 A を出発してから何秒後か。これをすべて求めよ。

6. 2点A, Bの座標をA(0, 8), B(5, 3)とし, 原点をOとする。また, 点Cを線分AB上(両端を除く)にとり, 点Dを直線OB上にとる。ただし, 2点C, Dのy座標をともにkとする。



(1) 点Bとx軸について対称な点の座標を求めなさい。

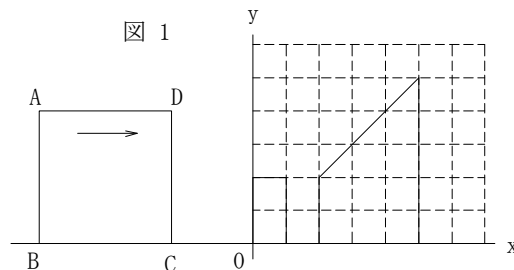
(2) 2点A, Bを通る直線の式を求めなさい。

(3) 直線ABとx軸との交点をEとする。三角形BOEの面積とBCDの面積が等しくなるのは, kの値がいくらのときですか。

(4) 点Bを通り三角形AOBの面積を2等分する直線の式を求めなさい。

7. 図1のように、長方形と台形の2つの図形があり、1辺4cmの正方形ABCDが、辺BCがx軸と重なるようにおかれている。いま、図2のように、この正方形がx軸にそって、矢印の方向に毎秒1cmの速さで動いていく。頂点Cが原点0を通過してから t秒後における正方形と2つの図形との重なった部分の面積を $S\text{cm}^2$ とするとき、次の問いに答えよ。ただし、座標の目盛りの単位はcmとする。

(1) $t=3$ のときのSの値を求めよ。



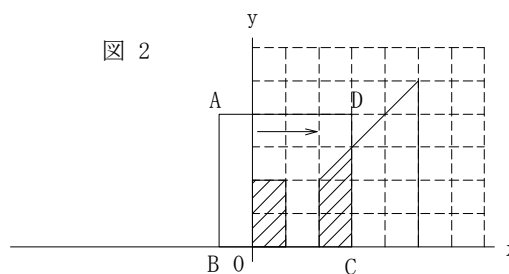
(2) 次の各場合について、 S を表す式をつくれ。

ア $0 \leq t \leq 1$ のとき

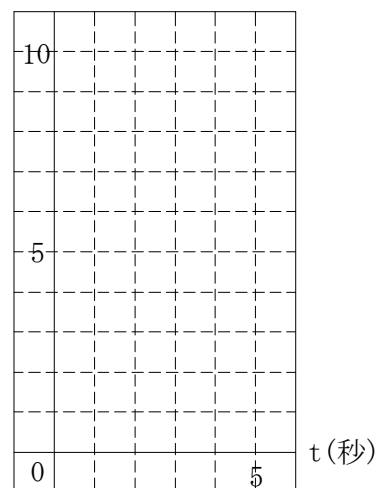
イ $1 \leq t \leq 2$ のとき

ウ $2 \leq t \leq 4$ のとき

エ $4 \leq t \leq 5$ のとき

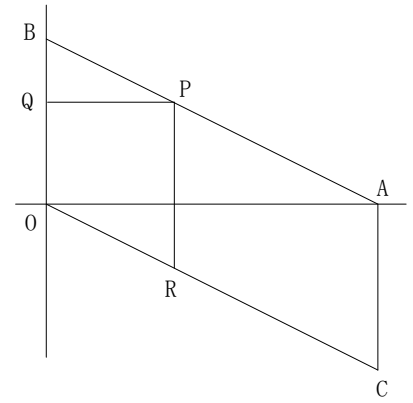


$S(\text{cm}^2)$



- (3) (2)で求めたア～エの各場合について、 t と S の関係をグラフに表せ。
また、 $0 \leq t \leq 5$ で、 S の値が正方形の面積の $\frac{1}{5}$ になるときの t の値はいくらか。

8. 図のような4点A(2, 0), B(0, 1), O(0, 0), C(2, -1)を頂点とする平行四辺形がある。いま, 辺AB上に点Pをとり, Pを通り, x軸, y軸に平行に引いた直線が, 辺OB, OCと交わる点を, それぞれ Q, Rとする。このとき, 点Pのx座標をaとして, 次の問いに答えよ。ただし, 座標の目盛りの単位はcmとする。



(1) 直線ABの式を求めよ。

(2) 三角形BPQの面積を $S\text{cm}^2$, 平行四辺形PRCAの面積を $T\text{cm}^2$ とするとき,

ア S及びT をaの式で表せ。

イ $S=T$ となるときの aの値を, 四捨五入して小数第2位まで求めよ。ただし, 必要ならば, 右の平方根表を利用せよ。

数	平方根
1	1. 000
2	1. 414
3	1. 732
4	2. 000
5	2. 236

以上